



天文台だより

銀河の森天文台
2019 夏号
Vol. 84

7月13日(土)、第11回スターライトフェスティバル開催!

講演会は、7月13日(土)午後7時～午後8時20分開催!



JAXA名誉教授 向井利典氏

2019年7月13日(土)に第11回スターライトフェスティバルを開催します。

フェスティバルでは、JAXA名誉教授向井利典氏をお招きし、午後7時から講演会「地球のしっぽの話」を開催します。皆さんは地球にしっぽがあるなんて想像したことあるでしょうか? 向井先生は人工衛星のプロフェッショナルな方でもあり、「はやぶさ」の開発にも携わっていました。講演会は子供にも分かり易い楽しいお話です。講演会の時間に合わせて、町内無料送迎バスを運行しますので、興味のある方はぜひご参加ください。また、夕方頃から天文台入口に屋台が登場する予定です。

フェスティバルの13日は開館時間を延長して夜12時まで開館しますので、講演会後もゆっくりと星空を楽しむことができます。さらに、屋上広場には望遠鏡設置スペースを用意しますので、ぜひご自分の望遠鏡をご持参下さい。皆様の愛機と一緒に夜空を楽しみましょう。

「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

私がオーロラという不思議な光現象のことを知ったのは、小学校6年生の頃でした。「オーロラは、太陽から飛んでくる来る電気を帯びた粒子が地球の磁力に引っ張られて極地方に集められ、そこにある地球の大気に衝突して光るもの」と説明を受けました。「もしこの説明が正しいのなら、オーロラは地球の太陽側、つまり真昼側で強くなるはず」と上出少年は、職員室へクレームをつけにきました。現在の一般向けの科学解説書には、「地球は磁場のしっぽを持っており、夜側へ長く伸びていて、オーロラの発生にはこのしっぽが重大な役割を果たす」と書かれています。

当館が主催する「陸別スターライトフェスティバル」は、オープニング(1998年7月7日)を記念し2009年より毎年開催されています。昨年度のこの講演会は、宇宙飛行士の山崎直子さんを招聘し、350名もの聴衆が町内外から集まりました。本年度は、宇宙航空研究開発機構の向井利典名誉教授をお迎えし、「地球のしっぽの話」をお聞かせします。

向井さんは、私がまだ博士課程の学生であった頃、すでに東大宇宙科学研究所の助手になっていました。向井さんと私は同年生まれで、one of the best friends in the worldを保っています。オーロラの粒子が、磁気圏のしっぽの中でどのように振舞って地球に降り注いでくるのか、向井先生の易しい説明を聞きましょう。



(上出洋介館長)

天文台新規採用スタッフの紹介 三浦 航幸(みうら かずゆき)



陸別の空に魅了され、札幌からやって来ました。4月1日より銀河の森天文台で勤務しております。小さい頃から星々に興味がありまして、キャンプなどではよく空を見上げていました。澄んだ空気によってより美しく輝く陸別の環境で眺める星空はまさに圧巻の一言です。学生時代や前職では夜も明るい環境に身を置いていることが多かったこともあり、毎晩新鮮にお客様と一緒に楽しんでおります。ぜひ皆さんも陸別で美しい夜空を体験しましょう!

夏は木星・土星が見頃です!



今年は、木星がさそり座で、土星がいて座で輝き、見頃を迎えています。大型望遠鏡でその美しい姿の様子をお楽しみください。

暦表

(陸別町)

| | 日の出 | 日の入 | 月齢 | 月の出 | 月の入 |
|--------|------|-------|------|-------|-------|
| 7月 1日 | 3:43 | 19:14 | 27.7 | 2:14 | 17:31 |
| 7月 15日 | 3:53 | 19:08 | 12.3 | 17:44 | 2:17 |
| 8月 1日 | 4:10 | 18:52 | 29.3 | 3:47 | 19:08 |
| 8月 15日 | 4:25 | 18:33 | 14.0 | 18:35 | 3:46 |
| 9月 1日 | 4:44 | 18:05 | 1.7 | 6:30 | 19:26 |
| 9月 15日 | 5:00 | 17:40 | 15.7 | 18:24 | 5:39 |

天文台からのお知らせ

7月1日(月)から公共施設の建物内及び敷地内が全面禁煙となります。それに伴い天文台館内及び敷地内(駐車場含む)も「全面禁煙」になります。7月1日以降、天文台には喫煙所は設置されません。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

天文行事&暦

7月

- 3 ●新月
- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
- 10 土星が衝(0.1等, 視直径18".4)
- 13 第11回陸別スターライトフェスティバル
- 17 ○満月
道みんの日(天文台無料開放)
- 23 大暑(24節気:太陽黄経120°)
- 24-8/4 天の川と木星・土星観望会

8月

- 1 ●新月
- 7 旧七夕
伝統的七夕キャンドルナイト
- 7-18 木星・土星観望会
- 8 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 10 水星が西方最大離角
(光度:0.1等, 離角:19°.0)
- 12, 13 天文台特別開館
ペルセウス座流星群観望会
- 13 ペルセウス座流星群が極大
(PM5時 最大50個/時)
- 15 ○満月
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 30 ●新月

9月

- 8 白露(24節気:太陽黄経165°)
- 11 海王星が衝(7.8等, 視直径2".4)
- 13 中秋の名月
- 13, 14 名月観望会
- 14 ○満月
- 18-29 海王星と秋の天体観望会
- 23 秋分(24節気:太陽黄経180°)
- 29 ●新月

夏のイベント情報 !!

☆天の川と木星・土星観望会

天の川が良く見えるこの時期に観望会を開催します。今年、天の川の近くに木星や土星もあり、望遠鏡では木星の縞模様や土星の輪も楽しめます。

開催日: 7月24日(水)~8月4日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆伝統的七夕キャンドルナイト

伝統的七夕(8月7日)の日、天文台屋上広場にキャンドルを並べ、ゆっくりと星空を楽しみます。

開催日: 8月7日(水)

キャンドル: 午後7時30分から

☆木星・土星観望会

さそり座に木星、いて座に土星と夏の夜空に2大惑星が並んで見えています。ぜひ、ご来館下さい。

開催日: 8月7日(水)~18日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ペルセウス座流星群観望会

今年のペルセウス座流星群は8月13日の午後5時に極大時刻を迎えます。流れ星が多いと予想されるこの期間に観望会を開催します。

開催日: 8月12日(月)、13日(火)

説明会: 午後7時30分から

☆名月観望会

中秋の名月の9月13日にあわせて観望会を開催します。

開催日: 9月13日(金)、14日(土)

説明会: 午後7時30分から

☆海王星と秋の天体観望会

9月11日に衝になった海王星がみずがめ座の中で見頃を迎えます。海王星は望遠鏡で見ると青い色で見えます。ぜひ、ご来館下さい。

開催日: 9月18日(水)~29日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

ペッコカめぐり「ペルセウス座流星群」

夏の天文イベントといえば、一番に思い浮かぶのが「ペルセウス座流星群」でしょう。毎年8月13日頃の極大時には、1時間に60個もの流星が流れる夏の一大イベントです。私が意識して星空を眺めたのも確かこのペルセウス座流星群だったと思います。当時、N少年はテレビのニュースを見てこれを知り、たくさんの流星を見ることができると期待したものの、数個の流星しか見ることができませんでした。今思うと、見る時間が早かったのと、15分程度であきらめてしまったからなのでしょうね。今年のペルセウス座流星群は、月明かりに邪魔されてしまい、あまり条件が良くありません。とはいえ普段よりたくさんの流星が流れるこの日は、N少年のように諦めてしまわず、頑張っていれば10個以上の流星を数えることができるでしょう。(中)

天文台からのお知らせ

☆ 8月12日・13日は、月・火曜日ですが、特別開館いたします。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp